

会議状況等報告書

会議の名称	第3回大府市緑化推進委員会
日 時	令和7年2月19日(水)9時00分～
場 所	大府市役所 5階 委員会室I
出席者	樋口委員長、水谷委員、服部委員、只井委員、深谷委員、小野委員、島田委員
	伊藤部長、深谷課長、清水係長、鎌田主査、山田主任、奥村主事

1. あいさつ

委員長あいさつ

2. 報告事項

(1) 第2回大府市緑化推進委員会の報告事項について【資料1】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員長) 自然的土地利用で減少している用地は農地が多いか。

事務局) 農地が宅地開発等で減少したことが大きな原因である。

委員長) 水面の利用が減っているのは何が原因か。

事務局) ため池を公園にしたことで減少したと考えられる。

委員長) 一部数値が地権者の考えによって変わり、委員会として管理が難しい。新たな目標値を設定するのか、違う指標にするのかは今後事務局と検討していきたい。

3. 議題

(1) 令和7年度の事業計画案について【資料2】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委 員) 市の木、市の花を活用したまちづくりとして小学校のサクラとツツジの植樹を紹介しているが、この取り組みは1校だけで行っているのか市内小中学校全体で行っているのか。サクラは植えている品種を決めているか。

事務局) 今年度は小学校3校で植樹を行っている。樹種の指定はしていないため、各学校が決めている。学校には愛着を持って育ててほしいためそうしている。来年度も3校で実施する予定で、これで市内小中学校すべてで実施したことになる。

委 員) 昨今、ソメイヨシノの老化で長生きが難しい樹種と言われている。何か対策はあるか。

事務局) ジンダイアケボノがソメイヨシノに比べ病気に強いサクラと言われている。もし、学校側から助言を求められたら伝えるつもりである。

委 員) 子どもの植物観察の観点からいろんな種類の桜を植えられると良い。

事務局) 今後学校側が木を選ぶ際の参考意見として伝えます。

委 員) ニツ池セレクトナにある河津桜は背が低く、人と写真で写りやすいことから人気がある。

委 員) 吉田保育園跡地に整備している公園はどうなっているか。

事務局) 土木と建築の工事が終わり、植栽の工事を行っている。完成記念式典が3月19日に行う予定である。式典は吉田保育園の園児達も呼んで行う予定である。

委員長) サクラは市の木になっているため、いろんな樹種を植えるのも良いという意見があったため、例えば学校にサクラの特徴がわかる一覧表を提示できるようにするなどの工夫があってもいいかもしれない。

事務局) 今後検討していきたい。

(2) 大府横根平子土地区画整理横根平子2号公園の整備計画について【資料3】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委 員) 4連ブランコとなっているがすべて児童用か。

事務局) 幼児用と児童用を2つずつ設ける。

委 員) ゾーニング図に基づいて作成したとのことだが、休憩エリアや児童エリアの大きさもゾーニングの際に決めた割合に基づいているのか。

事務局) ゾーニングもワークショップの中で話し合った結果、今回のような形になった。

委 員) 高木を植える予定はあるか。

事務局) 現段階では樹種は決めていない。ただ、周辺に住宅が建設されることが想定されるので、枝が大きく張り出さないものなど配慮が必要だと考えている。

委 員) 公園内を周遊できるようになっているか。

事務局) 今回の公園は面積が大きいことや、ワークショップの中で子どもが遊べる広場をできるだけ大きくしたいという方向で話が進んだため、周遊できるような園路は整備予定にはない。

委 員) ボール遊びができる公園にするなら低木やフェンスを設置して道路に出ないような対策をしてほしい。

委 員) 近所の公園でも子どもがボールを隣の池に落としてしまい、近所の大人に取ってもらっていた。

事務局) ボール遊びについては地域ごとに様々な要望があるため、画一的に整備できなかったり、バリアフリーの観点からすべてフェンスやネットで囲うことができない。そのため、苦情があると公園内でのボール遊びを制限する方向になってしまう。近くに多目的広場がある場合はそちらも利用して欲しい。

委 員) 子どもはどうしてもボール遊びもしたい、遊具でも遊びたいという子が多いため、できるだけボール遊びもできる公園を整備して欲しい。

事務局) 来年度以降も新たな公園整備が予定されているため、参考にしていきたい。

委員長) 四阿から広場へのアクセスが階段しかない。ベビーカーで来た人を想定してスロープがあった方が良くはないか。

委 員) ベンチの数はできるだけ多い方が良い。災害用ベンチを他の公園で見たことがあるので取入れても良いのではないか。

事務局) まだ計画段階で修正は可能なので検討していきたい。

委 員) 大府市外の公園ですり鉢型の地形の公園にすればボールが園外に出にくくなって良いのではないか。

事務局) すり鉢型の地形は水がたまりやすく、乾きにくくなるデメリットもある。色んな意見をバランスを取りながら考えたい。

委 員) 車椅子が通れるような間口や車止めの設置になっているか。

事務局) 公園整備の基準に照らし合わせて設計しているため、問題ない。

4. その他

(1) 矢戸川緑地の維持管理活動について【資料4】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委 員) プロジェクトSkyは何人ぐらいの団体か。

事務局) 10人以上参加していると聞いている。団体の中心メンバーには何度も顔を合わせているが、まだ会ったことのないメンバーもいる。

委 員) 竹林でハチの巣ができて苦情になったりしていないか。

事務局) 今のところハチの苦情はない。見たことのないキノコが生えているという通報は受けたことがある。

委 員) 長草方面で竹林整備をしている所を見かけた。

事務局) 近隣の市民が地権者と協力しながら整備をしていると聞いている。地域が自発的に始めた活動であるため、静観している状況である。

委員長) プロジェクトSkyは現在新しいメンバーは自分たちで集めているのか。メンバーが中高生中心であるようなので、小学校と連携できるようになるとメンバーも増え、活動の幅が広がるかもしれない。

事務局) SNSを活用して発信したり、コラビアで活動報告会を行って認知度を上げているようだ。

委員) 先日、プロジェクトSky主催のゴミ拾い活動に参加した。一所懸命活動していた。ただ、道路側のゴミを集める際に自動車の様子を気にかけていないことがあったりと少し気になる場面もあった。自主的に楽しんで活動している団体であるため、大人が遠くから見守るのが良いが、安全面等の助言ができる大人がいた方が良いかもしれない。

委員) 今回の活動で言えば、お揃いのユニフォームやゼッケンを着て活動すると、目立って安全にも配慮でき、活動のアピールにもなると教えてあげると良いのではないかな。

(2) 第20回シビックガーデンコンテストについて【資料5】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

意見なし